

2021年8月

お客様各位

富士フィルム VET システムズ株式会社  
営業推進部

## 受託検査サービス(外注検査)における ウサギの参考基準範囲設定のご案内

拝啓 平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
この度、ウサギの参考基準範囲を設定いたしました。健康診断や一般検査にご活用下さい。  
今後ともお引き立てのほど 何卒お願い申し上げます。

敬具

### 記

<開始日>  
2021年8月30日(月)報告分より

<対象項目>  
基本健診<健診ベーシック(生化学 19 項目)、血球計算)と同内容の一般検査単項目

<参考基準範囲について>  
・対象項目以外の設定はございません。  
・一部項目においては、富士ドライケムと参考基準範囲が異なります。

### 【検査ご依頼時の諸注意】

	一般検査	健康診断
価格・検体量	“検査案内 2021”参照	“2021 秋冬の健康診断のご案内”参照
依頼書※	依頼書上部の“兎”に○	動物種に“ウサギ(カナ・漢字)”と記載自由

※記載ない場合参考基準範囲は報告書に記載されません。

(記入例:健康診断)

No.	検査ID	カルテNo.	オーナー名(カタカナ、苗字のみ)	動物種	性別	追加オプション項目							健診履歴	現在の症状	備考
		検査材料	ペット名(カタカナ)	年齢	体重	シニアセット 犬猫	T4	FT4	TSH	COR 1本	COR 2本	ANP			
1		血清 血漿 全血 アプロチニン血漿 尿		犬 猫	オ	シニアセット 犬猫	GA	フルクト サミン	TBA 1本	TBA 2本	炎症	UPC	有	有	
				ウサギ	メ	小・中型 犬シニア セット	シニアC (犬)	SDMA (猫)	FIV/ FeLV	犬糸状虫 抗体(猫)	ワクチン 抗体価	無			

何かご不明な点がございましたら、下記までご連絡いただきたくお願い申し上げます。

<問い合わせ先>

営業推進部 受託検査推進グループ

連絡先:042-452-8535

以上

L21-13

【裏面にウサギ参考基準範囲の一覧を掲載しております。ご参照ください。】

**【ウサギ参考基準範囲】**

分類	項目	参考基準範囲			単位
生化学 19 項目	総蛋白 (TP)	5.9	～	7.8	g/dL
	アルブミン (Alb)	4.6	～	6.3	g/dL
	A/G 比	2.0	～	6.5	-
	総ビリルビン (T-Bil)	0.0	～	0.4	mg/dL
	AST (GOT)	0	～	36	U/L
	ALT (GPT)	12	～	72	U/L
	ALP	25	～	81	U/L
	γ-GTP (GGT)	0	～	18	U/L
	リパーゼ (Lip)	71	～	296	U/L
	尿素窒素 (BUN)	10.9	～	28.0	mg/dL
	クレアチニン (Cre)	0.6	～	1.4	mg/dL
	総コレステロール (T - Cho)	0	～	74	mg/dL
	中性脂肪 (TG)	28	～	222	mg/dL
	カルシウム (Ca) ※ <sup>1</sup>	13.4	～	16.0	mg/dL
	無機リン (IP)	1.6	～	4.1	mg/dL
	血糖 (Glu)	115	～	214	mg/dL
	ナトリウム (Na)	140	～	149	mEq/L
	カリウム (K)	3.7	～	5.5	mEq/L
	クロール (Cl)	98	～	113	mEq/L
血球計算	白血球数	2700	～	8500	/μL
	赤血球数	498	～	710	×10 <sup>4</sup> /μL
	ヘモグロビン	11.9	～	15.7	g/dL
	HCT (ヘマトクリット)	34.3	～	50.4	%
	MCV	63.3	～	74.5	fL
	MCH	20.7	～	24.1	pg
	MCHC	30.7	～	34.7	%
	血小板	14.6	～	61.9	×10 <sup>4</sup> /μL

※<sup>1</sup> Ca については現時点では臨床的意義が明確になっておらず、今後検討の余地があります。

【監修】みわエキゾチック動物病院 院長 三輪恭嗣先生